

強い島原半島-ひとりひとりがもっと強くなる

島原半島の認定農業者のための経営情報 ~ vol. 26 ~



発行：市担い手育成総合支援協議会
住所：
電話：
監修：島原振興局(地域普及課)

認定農業者だより

1. 経営分析に取り組んでみましょう！
2. 経営分析のあれこれ

1. 経営分析に取り組んでみましょう！

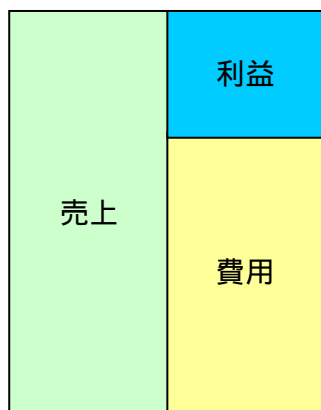
簿記の記帳は行っているけど、税務申告にしか使用していないという人は多いと思います。

簿記はあなたの農業経営のあらゆる数字が詰まった宝箱です。なかなか開けるのがためらわれがちですが、思い切って開けてみませんか？

どんなお宝が出てくるかは開けてみてのお楽しみです！

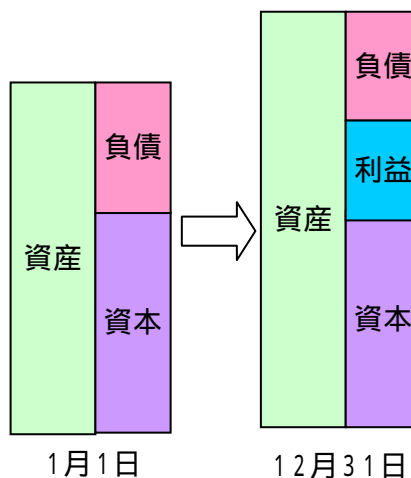
損益計算書 (収支計算書)

収入(売上・販売額)の内容と、支出(農薬や肥料などの各費用の金額から、その年の農業利益を計算するものです。集計の仕方によって、年間の農業所得、上半期、下半期などと分けることもできます。



貸借対照表

一定期間(個人の場合は1月から12月、法人の場合は決算期)の営農活動の中で、資産(財産)と負債(借金等)の金額の変化を表したものです。自分の家の正味財産の確認ができます。損益計算書と貸借対照表の利益の金額は同じ金額となります。



損益計算書 (収支計算書)

売上

- ・農産物の売上げ額。
- ・稲わらなどの副産物の売上額。
- ・価格補填金などの雑収入。
- ・その他売上に相当する収入。

費用

- ・肥料や農薬、諸材料などの物材費。
- ・雇用労賃などの労働費。
- ・共済掛け金などの保険費用。
- ・固定資産税などの税金。
- ・借地料や作業委託料。
- ・借入金の利息。
- ・10万円未満の機械の購入費。
- ・10万円以上の機械の減価償却費。

利益

売上 - 費用 = 利益 となります。

収入が必ずしも売上げとならない場合もあります。

支出が必ずしも費用とならない場合もあります。

貸借対照表

複式簿記を行ってれば、貸借対照表は自動的に出来上がります。

期首(1月1日時点) 資産

- ・期首の現金・預貯金の残高。
- ・期首償却資産の残高。
- 減価償却台帳の前年の残存価格。

期首(1月1日時点) 負債

- ・期首の短期借入金の残高。
- ・期首の長期借入金の残高。

期首(1月1日時点) 資本

- ・期首の資産額 - 期首の負債額 = 資本
- 資本とは正味財産です。

期末(12月31日時点) 資産

- ・期末の現金・預貯金の残高。
- ・期末の償却資産の残高。
- 減価償却台帳の残存価格。

期末(12月31日時点) 負債

- ・期末の短期借入金の残高。
- ・期末の長期借入金の残高。

貸借対照表の作り方。単記式の記帳をしていても、簡易的な貸借対照表の作成ができます。

期末の資産額を計算します(A)

期末の負債額を計算します(B)

期首の資本額を計算します(C)

損益計算書から、利益金額を作成します(D)

$B+C+D = E$

$A > E$ のとき・・・ $A - E = F$ は家計費からの持ち込みが多かったことをあらわします。FをCに加えます。

$A < E$ のとき・・・ $E - A = G$ は家計費への持ち出しが多かったことをあらわします。GをCに加えます。

家計費からの持込が多かったとき: 1年間農業経営を行った結果、経営内に資金不足が生じ、農業用資金として家計から持ち込んだこととなります。黒字・赤字に関わらず、資金繰りが非常に厳しかったことをあらわしています。

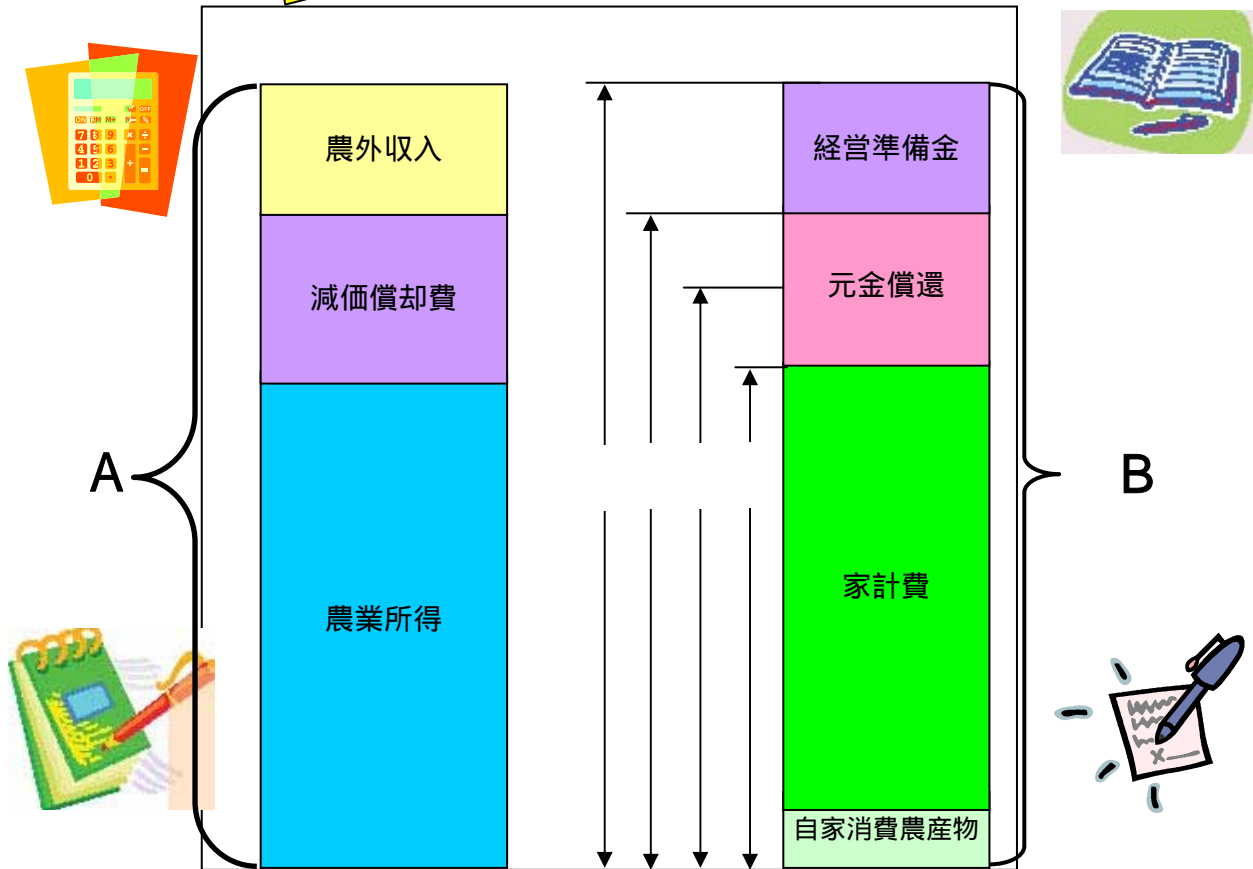
課経費への持ち出しが多かったとき: 通常の個人経営では、農業経営を行った結果、利益の中から家計費を捻出するわけですから、極自然な結果です。また、家計費の金額を見ることで、スムーズに農業経営が回っていったのかどうかを検証することもできます。

貸借対照表を作成してみましよう。1年間の資産や負債の動きを確認してみましよう。

資産は増加していますか？

負債は減少していますか？

農業経営の健康度チェック



A 一年間で得た使用可能な金額。
減価償却費は費用として計上しますが、実際には支払う金額ではないため、取得した金額として計算をすることになります。

B 一年間で実際に流出した金額。
家計費は、実際に一年間で必要な金額を記入します。本金償還は、短期や長期の借入金の一年間の償還金額の元金額を記入します。経営準備金は、減価償却費と同じ金額を記入します。



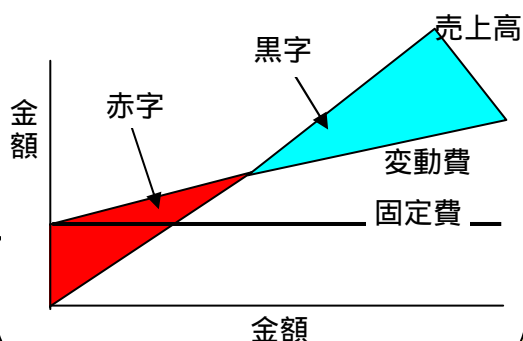
一年間で得た使用可能額 (A) の高さが、一年間で実際に流出した額 (B) と比べて

- よりおおきい **健康発展型**です。これが毎年続けば、借入金はなくなり、資産は増えて行きます。また、機械や施設を自己資金で更新することが可能です。
- と の間 **健康型**です。特に大きな問題はありませんが、機械や施設の**更新の際には借入金を使う**などの対処が必要になるかもしれません。
- と の間 **体力不足型**。終了や価格の変動、家計費の増大で**経営が悪化する危険があります**。(災害に弱い)借入金を支払うのに精一杯で、今の資金繰り状態は今後も好転しません。
- と の間 **負債固定型**。一年間で獲得した額以上に金が流出しています。この状態がつづけば経営が**危機に陥る可能性**があります。
- より小さい このまま行けば**借金地獄**に陥ります。

経営分析法のあれこれ

損益分起点分析

経費を固定費と変動費に分け、売上げと費用とのグラフを作成します。これにより、売上額がいくらになれば儲けが出るのか、また、単価や収量がどれくらいになれば儲けが出るのかがわかります。



資金運用分析

損益計算書と貸借対照表の結果を併せて行う分析法です。損益計算書や貸借対照表から、実際に経営内に入ってきた金額を計算します。同じように、経営の外に出ていった金額も計算します。経営の中にはいつてきた金額が多ければ、それがどのように使われたのか、また、蓄えに回ったのかがわかります。経営の外に出ていった金額が多ければ、どのようにしてその金額を補填したのかがわかります。これにより、経営の中でどのようにお金が回り、実際に経営が安定しているのかどうかを分析することが可能です。

経営分析は、簡単なものから複雑な方法まで様々です。皆さんの経営状況など、必要に応じて分析をしてみたいはいかがでしょうか？興味があっても、自分ではなかなかできない！ という方は、島原振興局までおたずねください。